

小寺記念精神分析研究財団主催（2026年度）

「構造化されていない心理臨床面接」を精神分析的に考える

精神分析にもとづく心理療法にとって、面接構造（あるいは面接設定）は重要である。しかし、「ある一定程度の頻度で構造化された面接」をもつことばかりが、サイコジストの仕事ではないのも現実である。そればかりか近年では、構造化された面接をもつ難しさが、ますます多くの現場から聞かれるようになってきている。

本セミナーは、こうした「構造化されていない心理臨床面接」について、精神分析的な視点から議論しようとするものである。私たちは、構造化されていない設定の臨床においても、精神分析の視点を持ちこむことで得られるものが大きく、日常の臨床をさらに豊かにすることが期待できると考えている。こうした実践は、必ずしも「精神分析的心理療法」とは呼べないかもしれないが、臨床実践として一つの役割を果たし、意味のある実践を届けていると感じている。

本セミナーを通じて、多くの皆様とともに、幅広い領域や対象にまたがる心理臨床実践を精神分析という視点から検討し、その醍醐味を味わう機会としたい。

講師： 妙木 浩之（東京国際大学・精神分析家・臨床心理士）、
吉村 聡（上智大学・精神分析家・臨床心理士）

対象：心理臨床家（臨床心理士、公認心理師）および臨床心理学を学ぶ大学院生

開催形態：現地と Zoom 併用によるハイブリッド方式
現地＝小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

定員：50名（現地参加定員25名〔先着順〕を含む）

日時：2027年2月21日（日） 13時～17時

受講料：5,000円

申込方法：下記 URL または右 QR コードよりお申し込みください。
<https://forms.gle/CpiekQG7m5Z5Jp61A>



申込期限：2026年12月6日（日）～2027年1月21日（木）

問い合わせ：小寺財団事務局 kodera.fps@gmail.com